


ASTERIA Warp デベロッパー・スキルチェックテスト

2019.08.06


選択問題 解説

✓ (1) ループの開始設定ができないコンポーネントを選択してください。 2 / 2




○ CopyFile

☒ a ✓




× Mapper

☐ b



× TextSplitLoop

☐ c



× SQLCall

☐ d

✓ (2) 適切なプロパティ設定により、PDFファイルを削除可能な 2/2 コンポーネントを選択してください。




× PDF

☐ a




× PDFExtractText

☐ b



○ DeleteFile

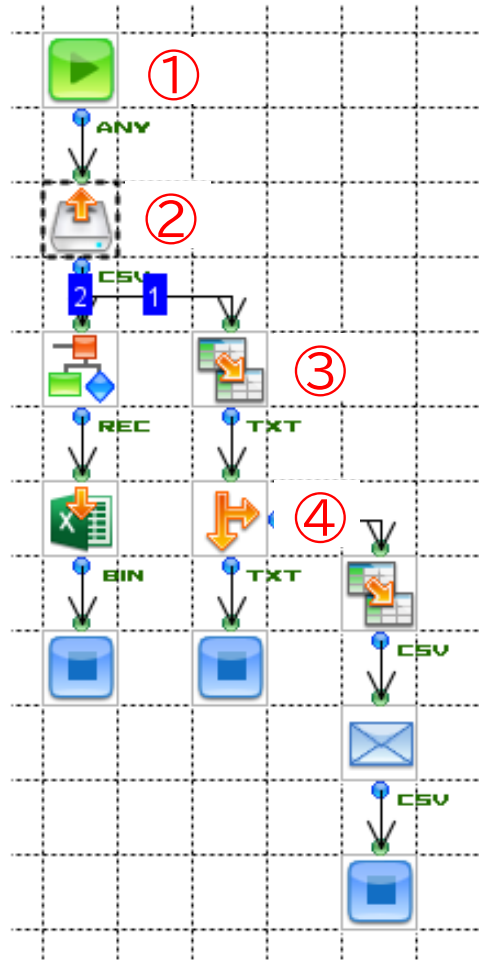
☒ c ✓



× ExcelSheetDelete

☐ d

✓ (3) Startコンポーネントが1番目に実行されるコンポーネントであるとき、4番目に実行されるコンポーネントを選択してください。 2 / 2



- ☐ Mapper
- ☐ ExcelOutput
- ☒ BranchStart ✓
- ☐ SubFlow
- ☐ End

「デザイナーでの変更
を禁止」を有効に

✓ (4) フローデザイナーに同梱されているツールについて適切でない記述を選択してください。

- ☐ 「ログビューアー」では、タブ形式で複数のログを並べて表示することができる。
- ☐ 「比較ツール」では、比較結果をHTMLファイルとして保存することができる。
- ☐ 「トリガー管理」では、実行中のフローを強制終了することができる。

- ☒ 「テーブル定義書作成」では、複数のRDBコネクション情報を1つの定義書として出力できる。 ✓

1つのRDBコネクション

✓ (5) ユーザーについて適切な記述を選択してください。

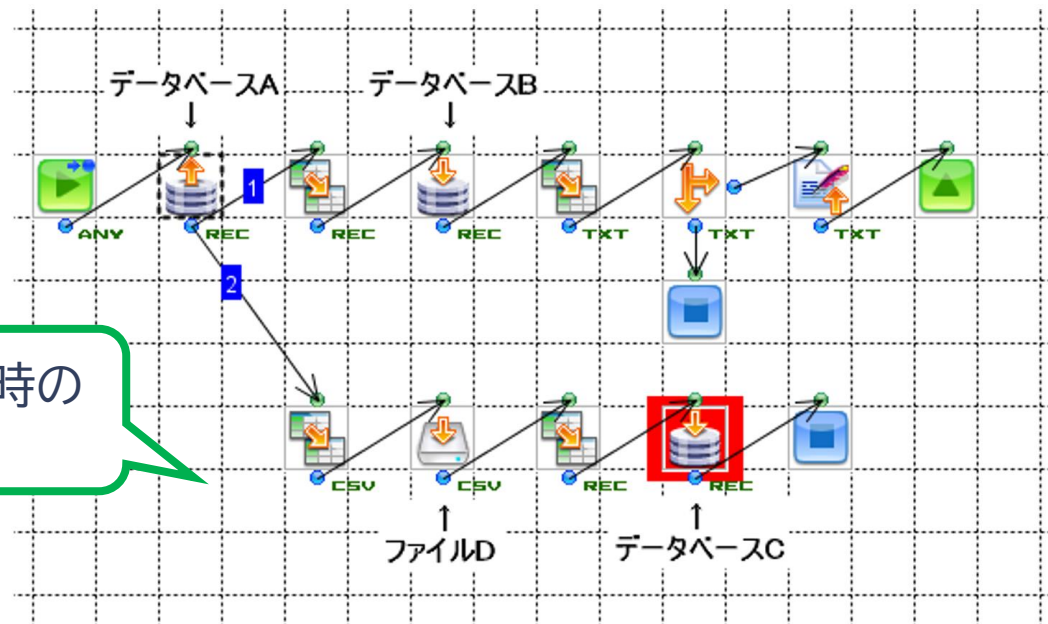
- ☐ ルートドメインでないドメインに所属する管理者は、同じドメインに所属するユーザーの一覧を確認することができる。
- ☐ 運用者はフローデザイナーにログインできるがフローを編集することができない。
- ☒ ルートドメイン直下の運用者は契約情報の確認をすることができる。 ✓
- ☒ 権限に依らず、FSMCでログの確認をすることができる。 ✓

✓ (6) サブフロー内でエラーが起きたとき、サブフロー内のフローを終了し、呼び出し元フローの処理を続けたい場合、サブフローで設定するエラー処理設定として適切なものを選択してください。

- ☐ 「エラーを無視する」を選択する。
- ☐ 「リクエストを終了する」を選択する。
- ☒ 「フローを終了する」を選択する。 ✓
- ☐ 呼び出し元フローを選択する。

✓ (7) 以下のフローにおいて、データベースCでエラーが発生後 2/2
に起こりうる状態として適切な記述を選択してください。※
エラー処理は設定されていません。

FilePutもロールバック時の
処理を設定可能



- ☐ データベースBとデータベースCとファイルDが更新（生成）される。
- ☐ データベースBとファイルDが更新（生成）される。
- ☐ データベースBのみ更新される。
- ☒ どのデータベース、ファイルも更新（生成）されない。 ✓

✓ (8) フローデザイナーの検索機能及び置換機能について適切な記述を選択してください。

☒ 検索対象は、コンポーネント、マッパー関数、変数のみである。 ✓

☐ 拡張検索をするとVelocityコンポーネントのテンプレートファイルの中身を検索・置換できる。 **置換はできません**

☐ フロー内のコネクション名を置換することはできない。

☒ 検索文字列に正規表現での検索条件を指定することができる。 ✓

存在するコネクション名への置換は可能です

✓ (9) プロジェクトキャッシュについて適切な記述を選択してください。

☒ プロジェクトキャッシュとはフローエンジンのメモリ上にロードされたプロジェクトをキャッシュサイズ個数分までメモリに保持する機能である。 ✓

☒ プロジェクトキャッシュサイズのデフォルト値は30である。 ✓

☐ プロジェクトキャッシュで用いられているキャッシュアルゴリズムは、最も使用頻度が低いものから順に破棄するLFU方式である。

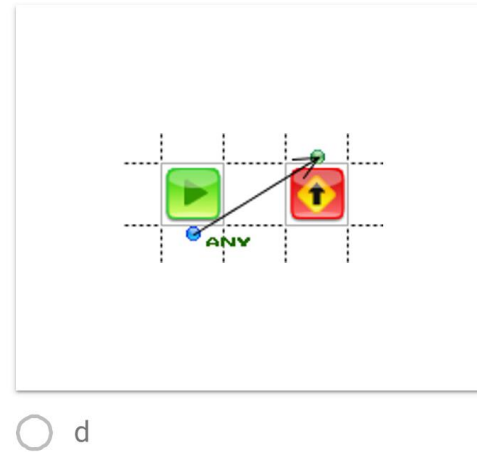
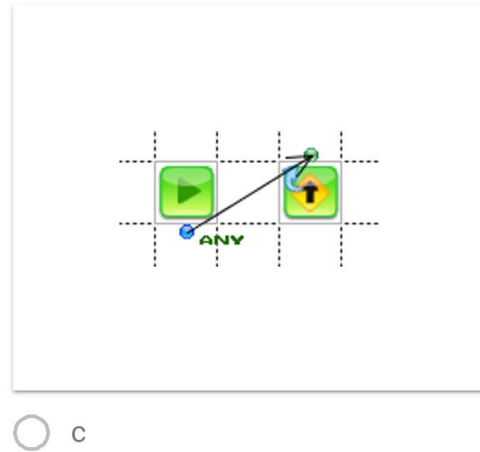
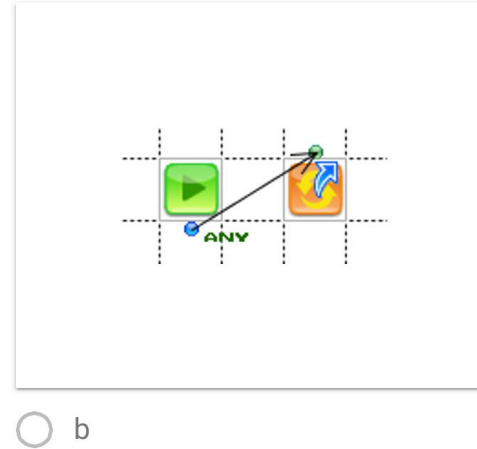
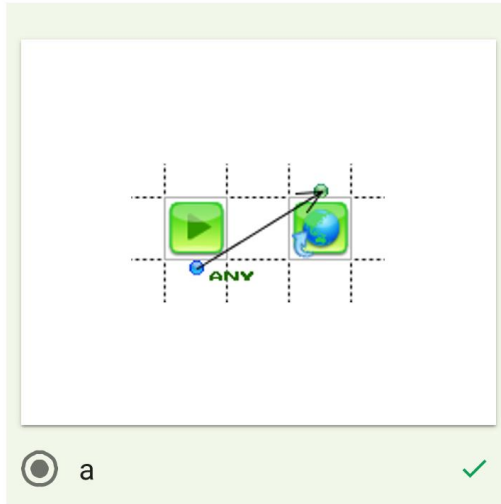
最近最も使われなかったものを順に破棄するLRU方式

☐ プロジェクトのキャッシュタイプは「コンパイル時にキャッシュ」、「キャッシュしない」、「常にキャッシュ」の3種類のみである。

「起動時にキャッシュ」もあります

ASTERIA Warp
Deep Dive 2ndで紹介

✓ (10) 次のフローでURLリダイレクトを行うフローを選択してください。 2/2



基本		Cookie	追加するヘッダー
プロパティ名	値		
名前	HttpEnd1		
トランザクション	コミット		
ステータスコード	302 Found		
Content-Type	自動印刷		
Location	user1/error01.html		
出力プロット...			
JSON変換	しない		
説明		表示	

✓ (11) プロジェクトの登録を行うflow-ctrlコマンドとして適切なコマンドを選択してください。

☐ regist Project1.xfp

☒ regist project Project1.xfp -s ✓

☐ regist project Project2.xfp subfolder1 -s

☐ regist projects C:\Temp*.xfp

✓ (12) Coreの標準機能で実現できる項目を選択してください。

☒ Excelファイルの出力 ✓

☒ CSVファイルの読み込み ✓

☐ フロー内でサブフローの呼び出し

☒ REST APIを提供しているクラウドサービスとの連携 ✓

✓ (13) フローデザイナーから操作可能な内容を選択してください。

☒ JDBCドライバーのアップロード ✓

☐ システムコネクションの作成

☒ サーバー上にあるヘルプの再作成 ✓

☒ 実行中フロー一覧の確認 ✓

✓ (14) フローリクエストをキャンセルしたときの挙動について
適切でない記述を選択してください。

☐ キューイングされていて実行されていないリクエストをキャンセルすると、フローは実行されない。

☒ 「フローの実行キャンセルがタイムアウトまでに完了しませんでした」というメッセージは、キャンセル処理が内部で指定されている時間内に完了せず、キャンセルが無効になったことを表す。 ✓

☐ キャンセル時にRDBGetコンポーネントが実行中の場合、RDBGetコンポーネントの処理を強制終了してアボートする。

☐ キャンセル時にFileGetコンポーネントが実行中の場合、FileGetコンポーネントの処理が終わった時点でアボートする。

コンポーネントによって
強制終了のタイミングは異なります

✓ (15) フロー変数「製造番号」と入カストリームだけを表示させる2/2
とき、Velocityコンポーネントで指定するテンプレートファイル内容として適切な内容を選択してください。ただし、フロー変数「製造番号」と入カストリームのデータ型はともにStringです。

☐ \$flow.製造番号 \$in

☐ \${flow.製造番号} \$in

☒ \$flow.get("製造番号") \$in.text() ✓

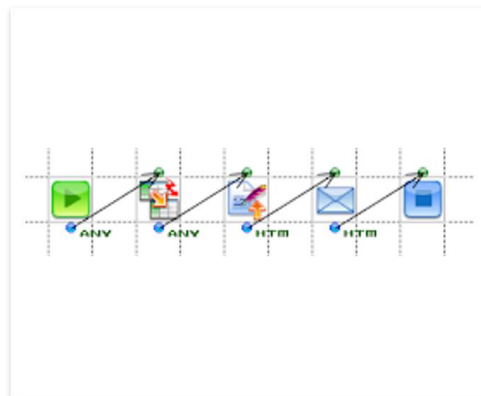
☐ \$flow.get("製造番号").text() \$in.text()

変数名が日本語の場合は
getメソッドを使います

✓ (16) HTMLメールを送信するフローとして適切なフローを選択してください。 2/2



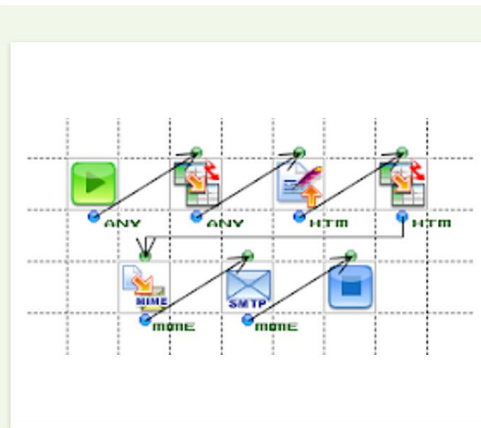
☐ a



☐ b



☐ c



☒ d



SimpleMailコンポーネントで
HTML形式メールは送信できません。

MIMEを作成し、SMTPコンポーネントを
使用して送信します。

1906から追加！

✓ (17) ExcelSimpleOutputコンポーネントについて適切な記述を2/2
選択してください。

- ☐ セルの背景色や罫線などの書式を設定することができる。
- ☐ 出力したExcelファイルはバイナリイメージとしてストリームに出力される。
- ☐ テンプレートファイルとして指定したExcelファイルにおいて、Excelビルダーで設定したレコード範囲内にデータが存在していた場合は上書きされる。
- ☒ レコード領域を複数設定することはできない。 ✓

✓ (18) フローを実行中、FileGetコンポーネントで設定したファイルパスのファイルが見つからずエラーが発生した場合に出力されるログのコードとして適切なものを選択してください。 2 / 2

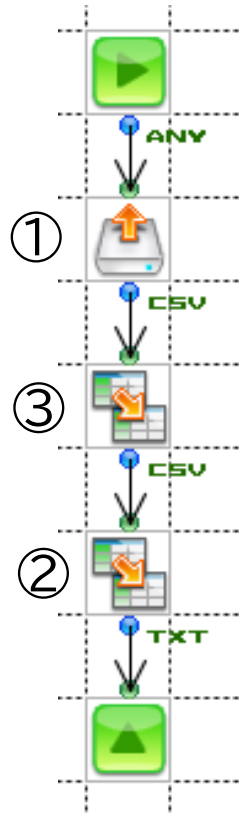
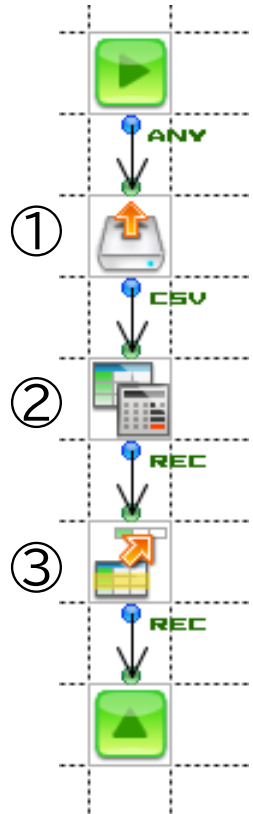
- ☐ FLEG_E_2158
- ☐ FLEG_I_0204
- ☒ FLEX_E_2055 ✓
- ☐ FLEX_I_0057

FLEX:フロー処理エラー
FLEG:フローの処理エンジンのエラー
E:エラー
I:情報

実習問題 解説

1 (1)

商品コード「RTY070」の注文合計個数を回答してください。



①

1/注文一覧(7月).csv
読み込み

②

商品コード毎の
注文合計個数を計算

③

商品コード「RTY070」
の注文だけ取り出し

POINT

<キーフィールド>
商品コード

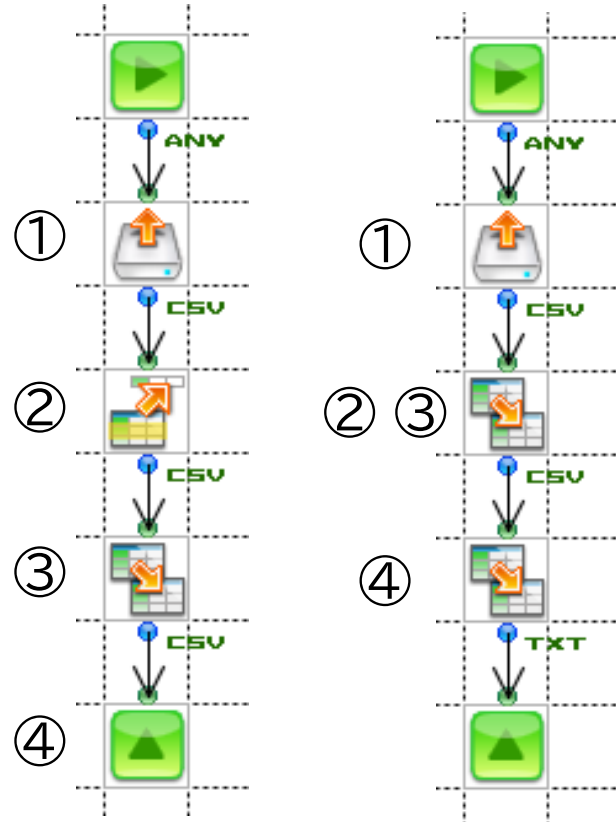
<集計フィールド>
個数

<条件式>
\$record.商品コード="RTY070"

答え. 25 (個)

1 (2)

2019年7月21日の注文合計額を回答してください。



①

1/注文一覧(7月).csv
読み込み

②

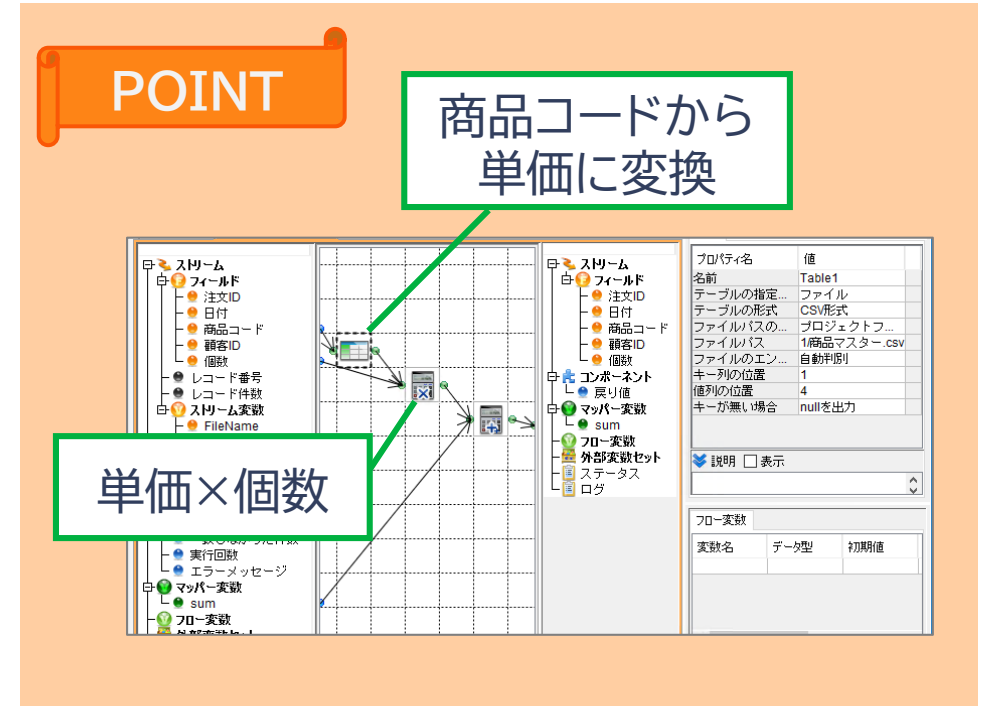
2019年7月21日の
注文だけ取り出し

③

商品マスターを参照し、
合計額を計算

④

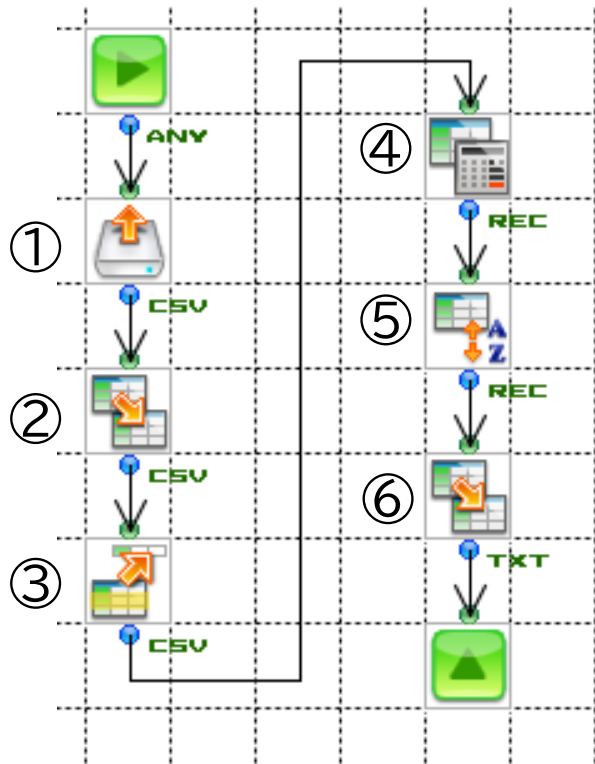
出力



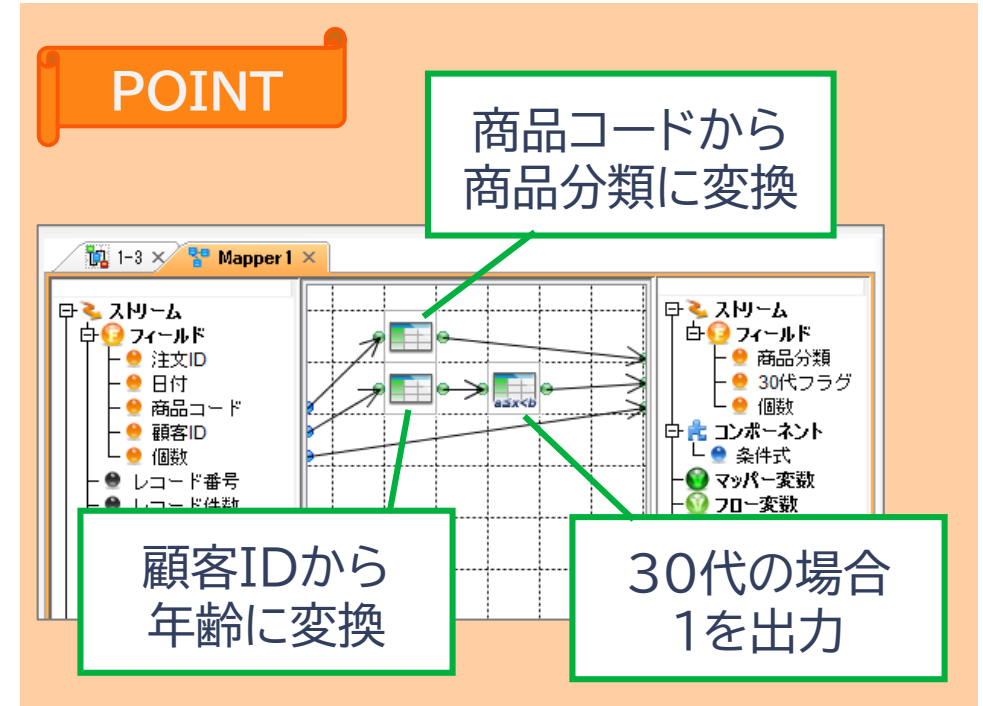
答え. 143890 (円)

1 (3)

30～39歳の顧客の注文について、分類番号ごとに注文個数を合計し、
分類ランキングを作成してください。また、注文個数が最も多い商品の分類を回答してください。



- ① 1/注文一覧(7月).csv
読み込み
- ② 商品の分類と
顧客の年齢を取得
- ③ 30代のデータを取得
- ④ 分類ごとに
注文個数を合計
- ⑤ 個数降順にソート
- ⑥ 1番目のデータ取得



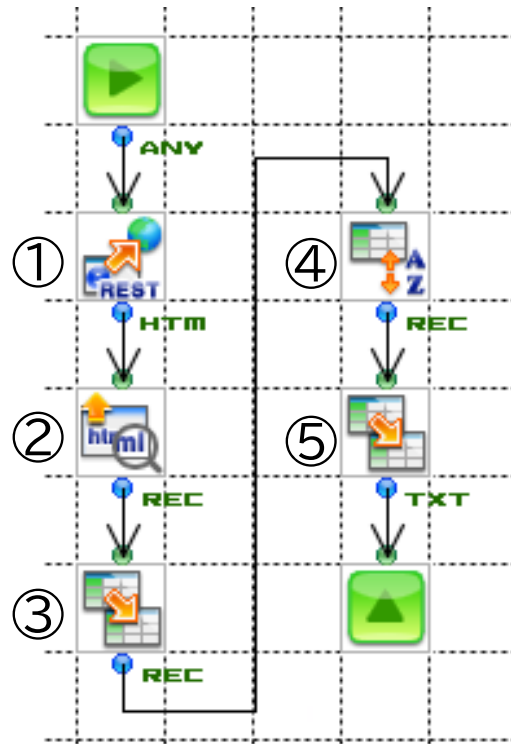
答え. 3

- ① 分類ランキング作成
- ② 3位の分類番号を保存
- ③ 分類でフィルター
- ④ 商品コードごとに
注文個数を合計
- ⑤ 個数、商品コードで
ソート
- ⑥ ファイル保存

答え. 7010

2 (1)

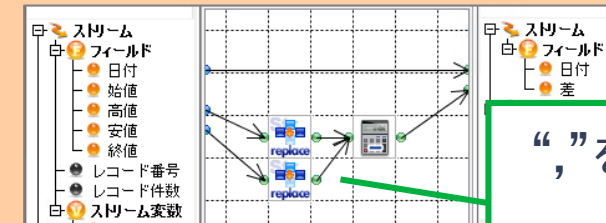
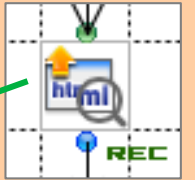
高値と安値の差が最も大きい日付をyyyy/MM/ddの形式で回答してください。



- ① HTMLを取得
- ② HTMLを解析
- ③ 高値と安値の差を計算
- ④ 差を降順ソート
- ⑤ 出力

POINT

<ベースセクタ>
table tr
<取得する値>
td:nth-of-type(n)

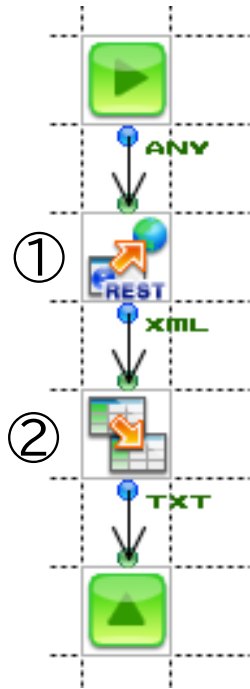


“,”を取り除いて
計算

答え. 2019/06/03

2 (2)

銘柄コード2895の2019年7月17日の高値を回答してください。

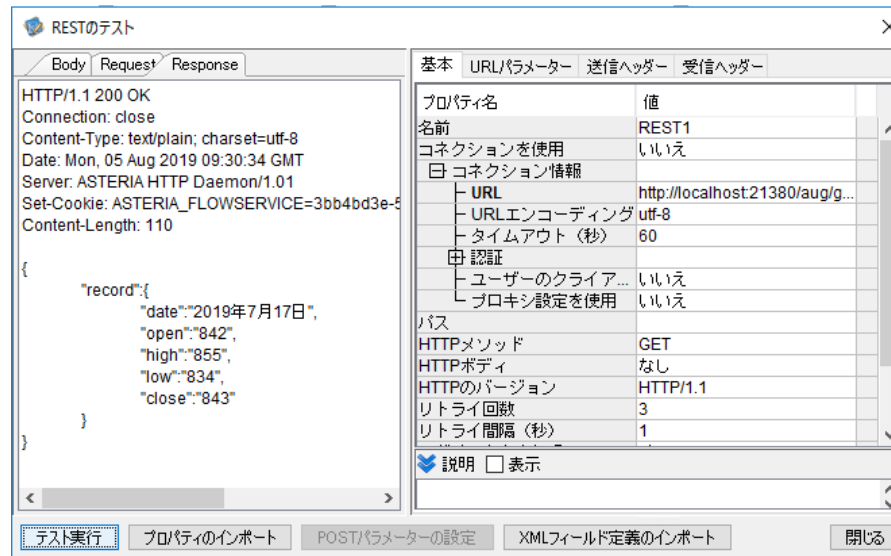


①

株価取得

②

出力

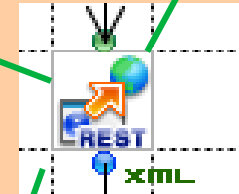


POINT

<URL>

http://localhost:21380
/aug/getstock/2895

<URLパラメーター>
date:20190717



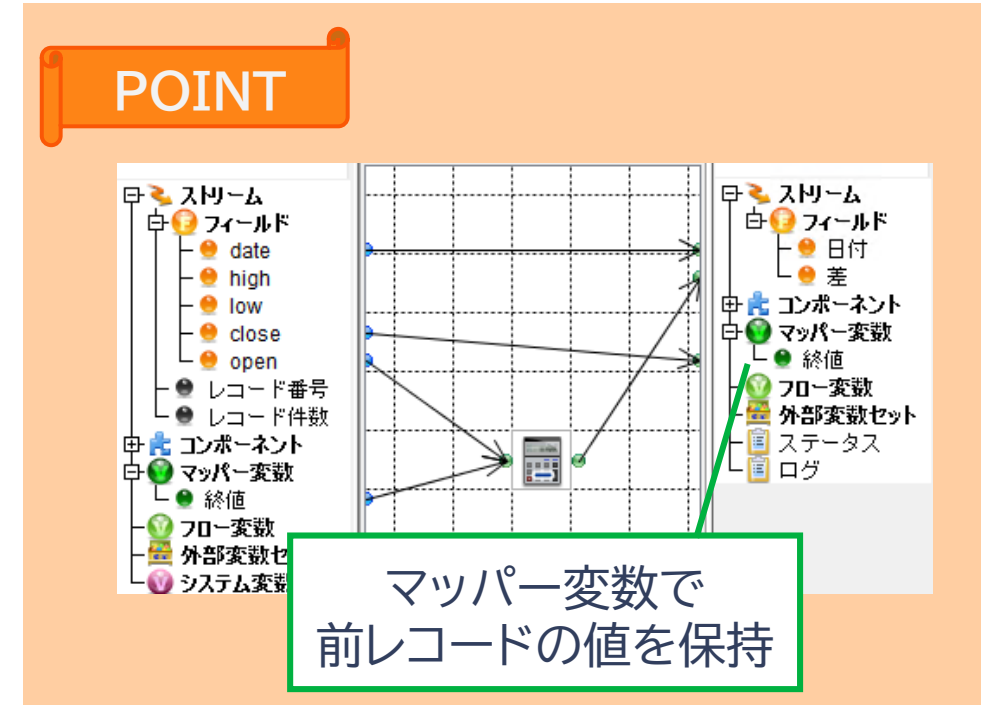
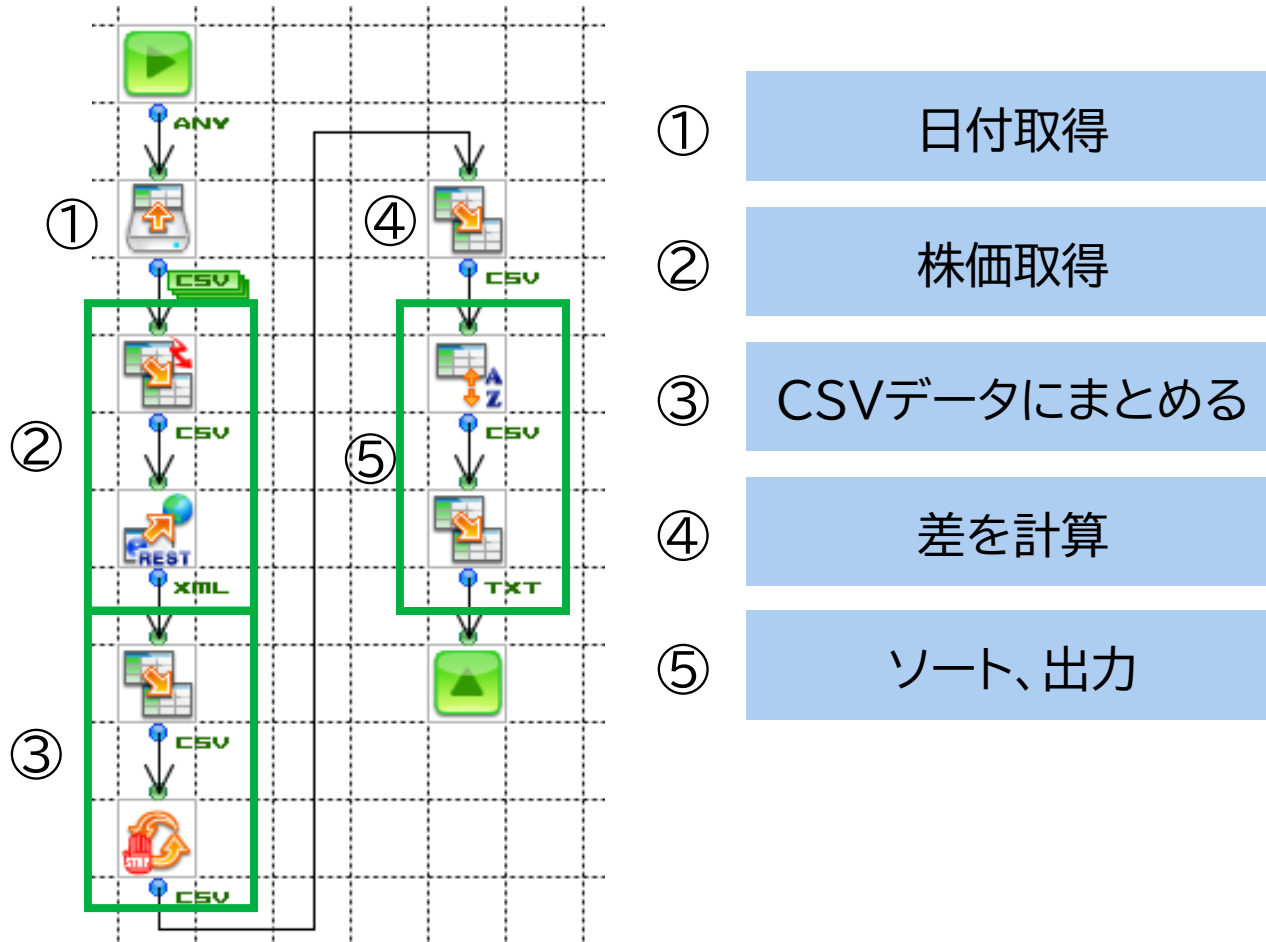
<送信ヘッダー>

X-applicationkey:5cd~(略)~b74d9

答え. 855

2 (3)

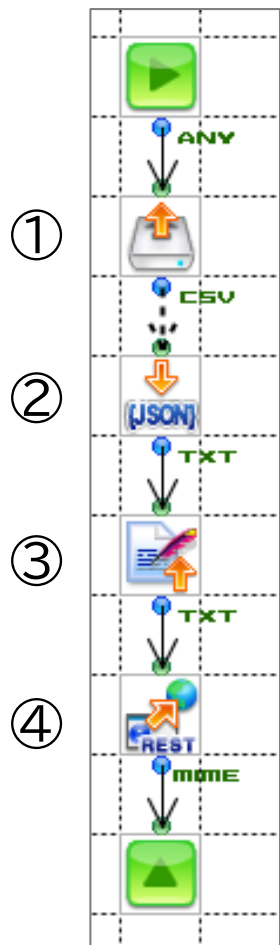
始値が前日終値と比べ最も大きく増加している日付を回答してください。



答え. 2019/07/16

2 (4)

APIを利用して銘柄コードとグループを登録してください。
また、登録完了後のレスポンスデータのうち、コード番号を回答してください。



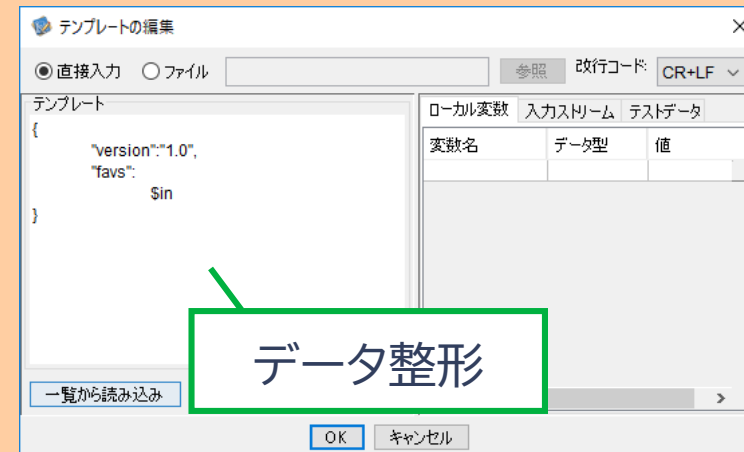
① favs.csv読み込み

② JSONに変換

③ version情報を追加

④ お気に入り登録

POINT



答え. 1069